

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三井不動産株式会社（証券コード:8801）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
発行登録債予備格付	AA
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- 業界トップの営業収益を誇る総合不動産会社。都心5区を中心としたオフィスビルや「ららぽーと」に代表される商業施設などの賃貸事業を主力事業としている。加えて、個人向け住宅や投資家向けの分譲事業、仲介・コンサルティングや管理受託などのマネジメント事業など幅広く事業を展開。それぞれが高い競争力を有し、強固な事業ポートフォリオを誇っている。
- 業績は、ここ数年コロナ禍の影響を受けてきたが、足元では本格的に回復している。現時点では、24/3期以降の業績も強含んで推移すると想定される。安定収益源となる賃貸事業の収益強化が進んでおり、市況変動に対する耐性が高まる方向にあるとみている。財務構成は良好である。積極的な投資を進める中でも、一定のコントロール下にあり、今後も悪化する懸念は小さいと考えている。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期営業利益は3,000億円（前期比22.5%増）となる見通し。コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期は営業減益となったが、22/3期に続き2期連続営業増益となり、20/3期以来の過去最高益を更新する見込みである。賃貸、分譲、マネジメントの主要3事業がけん引し24/3期の営業利益も現状以上の水準を確保可能と考えている。今後は都心部のオフィスビルの供給増の影響や不動産売買市場の動向に留意していく。
- 23/3期第2四半期末の自己資本比率は32.5%（22/3期末34.1%）、ネットD/Eレシオは1.40倍（同1.26倍）である。投資家向け分譲資産に加え賃貸資産が増加しているが、純利益の蓄積に伴う自己資本の拡充により財務構成は良好な水準にある。また、保有資産の含み益も厚い。引き続き財務の規律を意識した投資方針が維持されるとみているが、分譲資産の規模や資金回収状況を注視していく。

（担当）窪田 幹也・里川 武

■格付対象

発行体：三井不動産株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第42回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2011年3月18日	2030年12月20日	2.302%	AA
第47回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年3月15日	2032年12月20日	1.954%	AA
第48回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年8月2日	2033年8月2日	2.045%	AA
第49回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年3月18日	2046年3月16日	1.330%	AA
第50回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年4月27日	2046年4月27日	1.000%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 52 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70 億円	2016 年 12 月 6 日	2036 年 12 月 5 日	0.712%	AA
第 53 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	60 億円	2016 年 12 月 6 日	2056 年 12 月 6 日	1.179%	AA
第 55 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 2 月 24 日	2037 年 2 月 24 日	0.929%	AA
第 56 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 8 月 28 日	2024 年 8 月 28 日	0.200%	AA
第 57 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 8 月 28 日	2027 年 8 月 27 日	0.240%	AA
第 58 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 2 月 26 日	2023 年 2 月 24 日	0.100%	AA
第 59 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 2 月 26 日	2025 年 2 月 26 日	0.220%	AA
第 60 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 5 月 7 日	2028 年 5 月 2 日	0.305%	AA
第 61 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 10 月 30 日	2023 年 10 月 30 日	0.090%	AA
第 62 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 10 月 30 日	2025 年 10 月 30 日	0.200%	AA
第 63 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2018 年 10 月 30 日	2028 年 10 月 30 日	0.374%	AA
第 65 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2019 年 3 月 14 日	2024 年 3 月 14 日	0.160%	AA
第 66 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2019 年 3 月 14 日	2026 年 3 月 13 日	0.280%	AA
第 67 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2019 年 3 月 14 日	2029 年 4 月 13 日	0.380%	AA
第 68 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	500 億円	2019 年 9 月 12 日	2024 年 9 月 12 日	0.090%	AA
第 69 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2019 年 9 月 12 日	2029 年 9 月 12 日	0.220%	AA
第 70 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2019 年 9 月 12 日	2039 年 9 月 12 日	0.530%	AA
第 71 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2019 年 12 月 16 日	2030 年 4 月 16 日	0.310%	AA
第 72 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2019 年 12 月 16 日	2039 年 12 月 16 日	0.620%	AA
第 73 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2020 年 3 月 17 日	2035 年 3 月 16 日	0.520%	AA
第 74 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 3 月 17 日	2050 年 3 月 17 日	0.820%	AA
第 75 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 3 月 17 日	2070 年 3 月 17 日	1.030%	AA
第 76 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	600 億円	2020 年 4 月 28 日	2023 年 4 月 28 日	0.210%	AA
第 77 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250 億円	2020 年 4 月 28 日	2030 年 4 月 26 日	0.480%	AA
第 78 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 4 月 28 日	2040 年 4 月 27 日	0.810%	AA
第 79 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	400 億円	2022 年 7 月 14 日	2027 年 7 月 14 日	0.390%	AA
第 80 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100 億円	2022 年 7 月 14 日	2029 年 7 月 13 日	0.514%	AA
第 81 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	300 億円	2022 年 7 月 14 日	2032 年 7 月 14 日	0.689%	AA
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	4,000 億円	2021 年 4 月 13 日から 2 年間		AA	
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	4,000 億円	J-1+			

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年1月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「不動産」（2011年7月13日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 三井不動産株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル